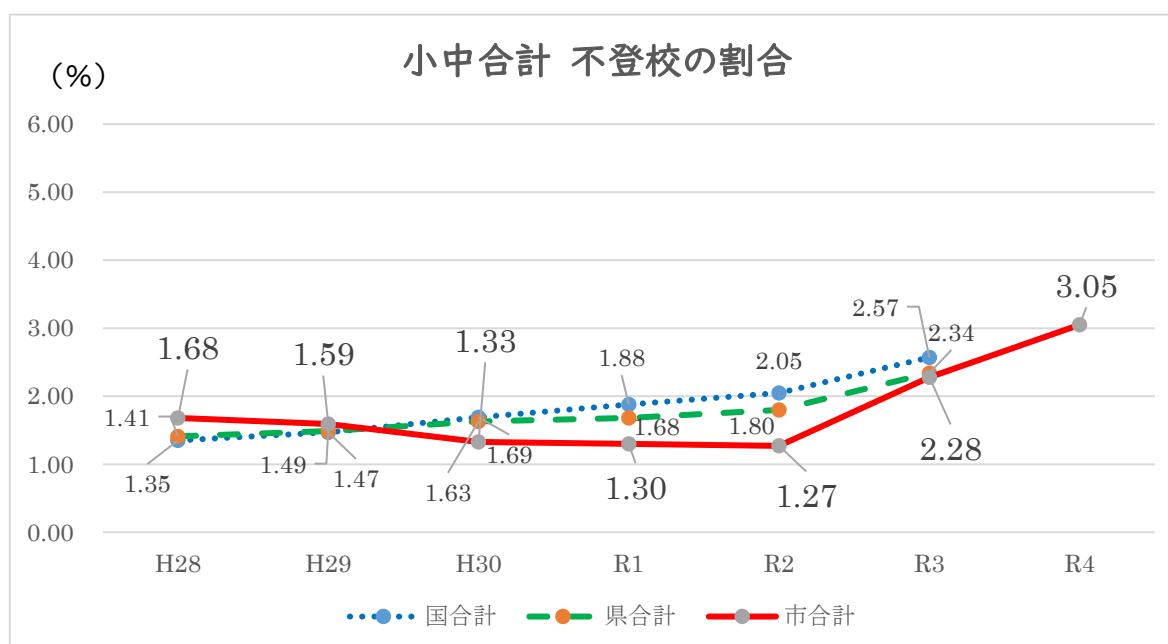
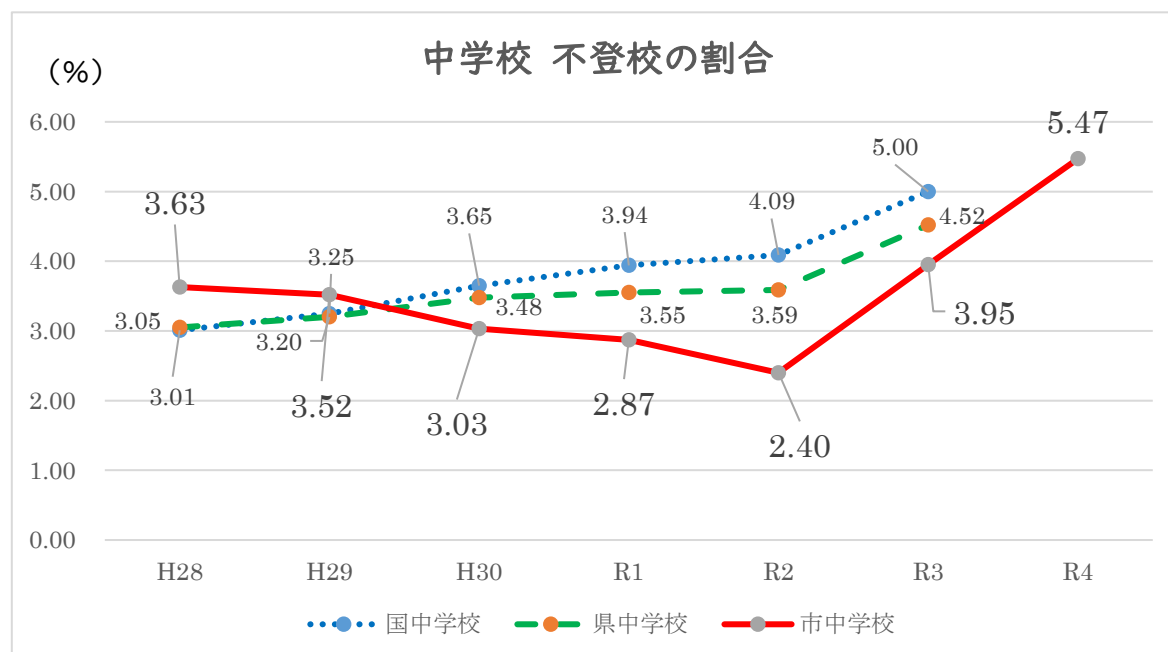
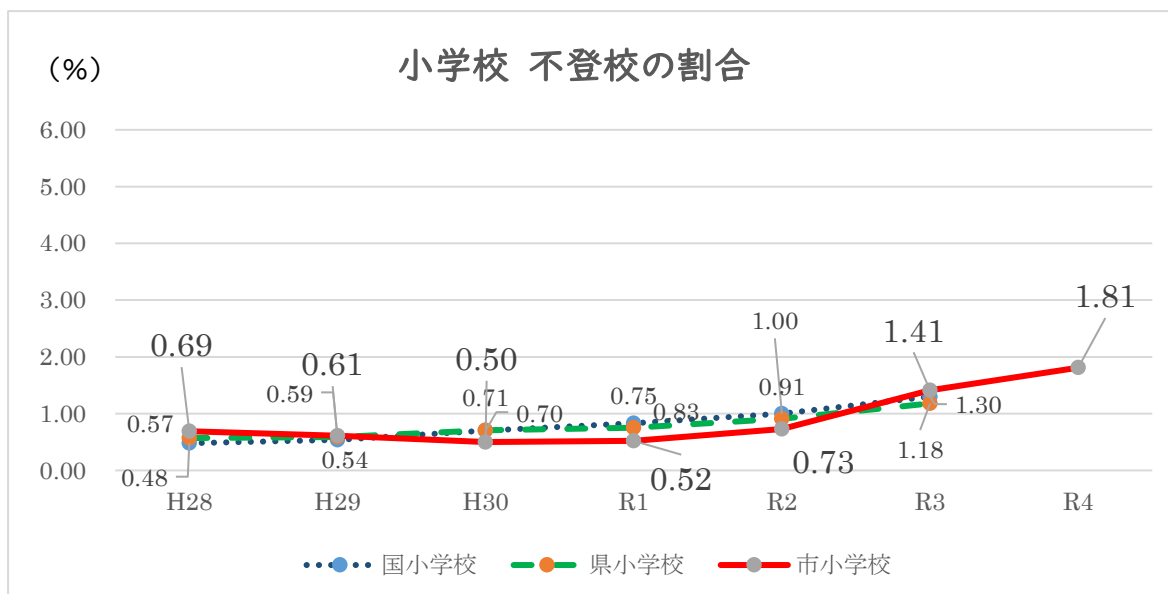


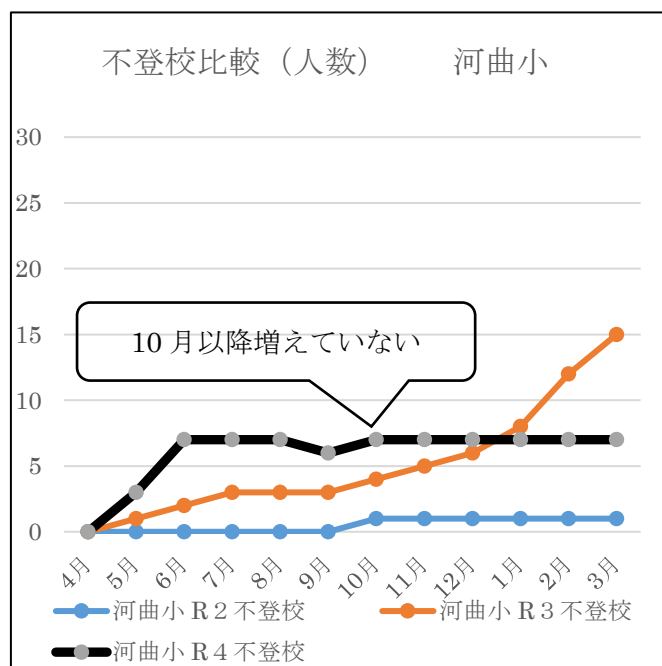
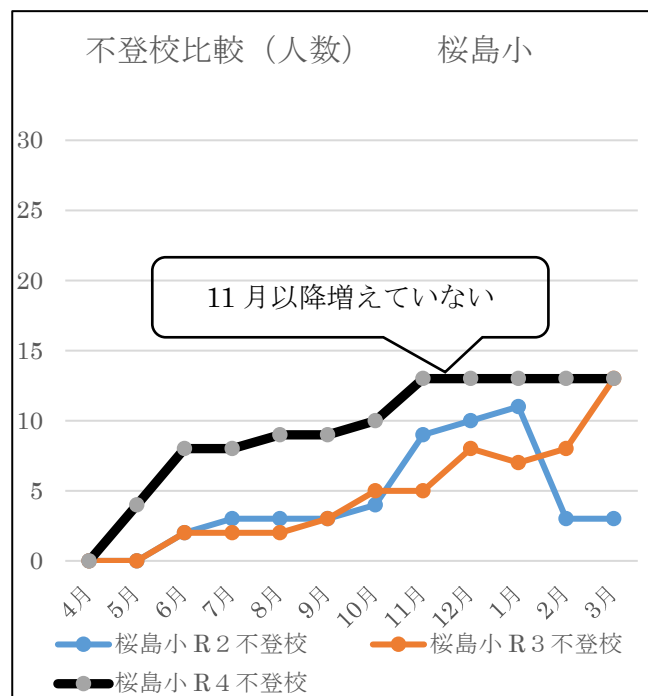
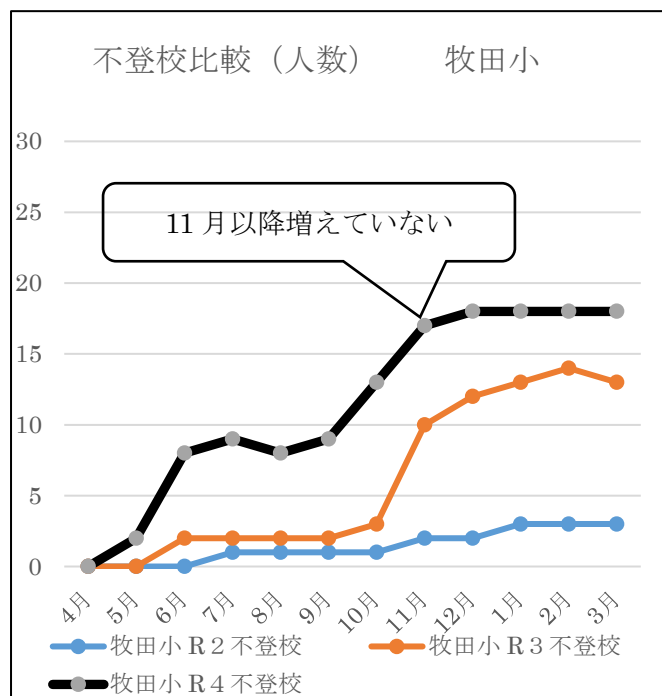
全児童生徒に占める不登校の割合（国・県・市比較）



【令和 4 年度 10 月から、ほっとルームを開設した小学校の状況】

下記のグラフから、ほっとルーム(校内適応教室)を設置した学校においては、10 月以降または 11 月頃から、不登校が要因での長期の欠席児童数が増えていないことがわかる。

つまり、今まで不登校傾向にあった児童が、別室に登校することができているとともに、不登校が要因で 30 日以上欠席する児童が新規に増えなかったと考察できる。



【実施校の意見】

- 個別の支援をすることにより、自分のペースで学習を進めることができ、学習意欲、登校意欲につながった。
- 少人数で過ごすことができ、緊張せず、のびのびと生活している様子がみられた。
- 登校時、ほっとルームに一度来室し、そこから教室に行ける時間は教室で学習することができた。
- スクールライフサポーターとほっとルーム指導員が連携することで、支援の充実につながった。
- これまで登校できていなかった児童が「ほっとルームなら行ってもよい」と言って、登校につながった。

【令和 5 年 7 月より、3 校から 10 校に増設】

R5年7月現在、ほっとルーム設置校(10 校)

桜島小	牧田小	河曲小	一ノ宮小	玉垣小
若松小	飯野小	白子小	旭が丘小	明生小

桜島小、牧田小、河曲小…令和 4 年 10 月から設置

一ノ宮小、玉垣小、若松小、飯野小、白子小、旭が丘小、明生小…令和 5 年 7 月から設置